

サステナビリティ方針業績評価指標 (Sustainability Direction Performance Indicators; SDPIs)

アンメットメディカルニーズの高い疾患の治療のための新しい治療法やモダリティの創出

アステラスは、アンメットメディカルニーズに応えた治療法やモダリティを創出し、世界の患者さんや介護者の生活を改善する優れたアウトカムをもたらすソリューションを提供することで、ヘルスケアシステム全体の負担軽減に貢献します。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
PoC ^{*1} を取得したプロジェクト数	プロジェクト	0	1	1
IND ^{*2} を取得したプロジェクトの数	プロジェクト	4	1	2
新規に上市した製品数	- (Cumulative total since FY2023)	5 (New: VEOZAH, IZERVAY, VYLOY Additional Indication: XTANDI (M0 CSPC), PADCEV (1L mUC))	5	5
ブレイクスルーセラピー ^{*3} 指定、ファスト・トラック ^{*4} 指定、PRIME ^{*5} 指定、優先審査 ^{*6} 指定、先駆け審査 ^{*7} 指定のいずれかに該当するプロジェクト数	件	3	3	1
Rx+新規プログラム数	プログラム	1	1	0

*1 PoC : Proof of Concept / コンセプト検証 (後期開発への進展の是非を判断するために臨床試験データで効果を確認すること)

*2 IND : Investigational New Drug / 新薬の臨床試験開始

*3 ブレイクスルーセラピー : 重篤なあるいは命にかかわる疾患に関する薬剤の開発および審査の促進を目的としたアメリカ食品医薬品 (FDA) の制

*4 ファスト・トラック : 完治が難しい疾患に対し、高い治療効果が期待できそうな新薬を優先的に審査するアメリカ食品医薬品 (FDA) の制度

*5 PRIME : Priority Medicines / 欧州医薬品庁 (EMA) が実施している、アンメットメディカルニーズを対象とする医薬品の開発支援を強化する制度

*6 優先審査 : 希少疾病用医薬品の指定を受けた医薬品の他、一定の要件に該当する医薬品について優先的に審査する制度

*7 先駆け審査 : 有効な治療法がなく命に関わる疾患に対し、革新的医薬品等を世界に先駆けて日本発で早期に実用化するために国内での開発を促進する日本の制度

アステラスが創出するイノベーションへのアクセス最大化と患者さんのアウトカム向上

保健医療へのアクセスは、社会とアステラス双方にとっての最重要課題のひとつです。より多くの患者さんにアステラス製品へのアクセスを提供すること、疾病の認識、予防、ヘルスケアサービスへのアクセスを改善することにより、2025年までに3,600万人以上（累計）にインパクトをもたらします。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
アステラスのコアビジネス（Rx,Rx+）				
アステラス製品 ^{*8} を処方された累計患者数	人（1994年からの累計）	1億5,950万以上	1億7,400万以上	1億7,400万以上
アステラス製品を届けた国の数	カ国	103	103	103
Rx+ 事業で製品化されたプログラム数	プログラム	0	1	0
アステラス製品の入手可能性の向上				
多様な医薬品アクセスプログラム ^{*9} を通じて治療を受けた患者数	人	2,055以上	約11,000	約13,000
多様な医薬品アクセスプログラムの実施国数	カ国	61以上	58	54
アステラス製品が販売されていない国 ^{*10} の患者さんに、パートナーとともにアステラス製品へのアクセスを提供した人数	人（2023年度からの累計）	100	200以上	200以上
外部パートナーが実施する保健医療へのアクセス向上に向けた活動の協働・支援				
アステラスが支援する保健医療へのアクセス向上のプログラムにより影響を受けた人数（2021年度からの累計、財団による支援を除く）	人（2024年3月時点）	約31,500	約228,000	約648,000
アステラス・グローバルヘルス財団 による保健医療へのアクセス向上のプログラムにより影響を受けた人数	人（2018年度からの累計）	3,140万以上	3,190万以上	3,300万以上
アステラス・グローバルヘルス財団 の助成金額	百万USドル（2018年度からの累計）	13.3以上	13.3以上	13.3以上
パートナーと協力し保健医療へのアクセス課題に取り組む研究開発活動の件数	件	4	3	3

^{*8} ハルナール、ベシケア、ミラベグロン、プログラフ、XTANDI、XOSPATA、EVRENZO、PADCEV

^{*9} 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[アステラス製品の入手可能性の向上](#)

^{*10} 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[タンザニアでの取り組み | アステラス製薬](#)

価値に基づく価格設定をアドボケートし、持続可能なヘルスケアシステムの維持へ貢献

アステラスは、価値に基づく価格設定をアドボケートし、持続可能なヘルスケアシステムの維持へ貢献します。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
価値に基づく価格設定（グローバルでの活動）				
価値、アフターナビリティ、アクセスの課題に対応するため、価値に基づく革新的な価格設定ソリューションが導入された数	件（2023年度からの累計）	5	5	5
価値に基づく革新的な価格設定方法によって製品が発売された国の数（累計）	カ国	2	2	2
価値に基づく革新的な価格設定方法を採用している製品／ブランドの数	-	2	2	2
価値に基づく価格設定（日本国内における活動）				
経団連 ^{*11} の活動を通じ、価値に基づく価格設定に関して勉強会やイベントでの講演・発表を実施した数	件	3	6	3
価値に基づく価格設定を内容に含む一般市民向けアドボカシー活動の数	件	8	14	5

*11 一般社団法人 [日本経済団体連合会](#)

イノベーション創出を促す人材と組織文化の醸成

アステラスは、イノベーションを実現するための確かなケイパビリティを持つ人材の確保とイノベーションを促進する組織文化を醸成します。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
サステナビリティ関連イベント実施後にメディアで報道された件数	件	8	7	3
社長からの6階層以下の組織の割合	%	83	79	73
全組織のスパン・オブ・コントロール ^{*12} の平均値	-	5.9	6	6
社内表彰制度の従業員の利用率	%	87	92	93
社内表彰制度により表彰を受けた従業員の割合	%	76	88	85
社内表彰制度の従業員の満足度	%	今後測定予定	今後測定予定	今後測定予定
エンゲージメントスコア	-	71	69	73

*12 スパン・オブ・コントロール： マネジャー1 人が管理する部下の人数

強靱で持続可能なビジネス基盤の構築

アステラスは、予測不能な事態や緊急事態が生じた場合でも、安全で有効な医薬品を確実に製造し安定的に供給することは極めて重要だと認識しています。製造サプライチェーンやエネルギー調達への事前対策やサステナビリティの観点を盛り込んだサプライヤーの選定を行い、より持続可能で柔軟なバリューチェーンを構築します。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
サプライチェーンマネジメント				
総電力使用量に占める再生可能エネルギー源による電力の割合	%	40	39	通年データとして開示予定
非常用電源強化プロジェクトの進捗状況	-	国内の製造拠点・研究所に予備電源の導入を実施中または検討中	国内の製造拠点・研究所に予備電源の導入を実施中	国内の製造拠点・研究所に予備電源の導入を実施中
地震多発地域の生産サイトにおける耐震補強工事の進捗率	%	100	100	100
安定供給のための取り組み	-	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施
地政学的課題に関する代替調達の準備の進捗	-	- 一部の製品を除く主要製品の代替リソースのリスク評価および準備を完了 - リスク評価中の一部の製品については、代替リソースの特定を完了 - 新製品である IZERVAY のリスク評価を開始	XTANDI: 影響のある原材料に対する代替ソースの特定が完了し、当局の承認取得済み VEOZAH: 代替ソースの特定が終わり、現在薬事手続き中 PADCEV: 二つの代替ソースが確定。一つは使用可能な状態。もう一つは、今年度中の完了を見込む IZERVAY: 代替リソースのリスク評価が完了し、問題ないことが確認済み	VEOZAH: 主要な薬事対応用の原材料について、代替ソースの適格性評価が完了。現在、規制当局への申請および承認取得が進行中。また、別の原材料に関する代替ソースの適格性評価は FY2026 に実施予定 PADCEV: 二つの原材料（ドラッグリンカーの出発原料）の代替ソースについて、適格性評価が完了

サステナブル調達				
TPLM ^{*13} プログラムの全グループ会社における統一的な運用の進捗状況	-	全グループ会社および製造拠点に対し、グローバル化された TPLM の運用プロセスを導入完了	- 買収した Iveric Bio および Propella Therapeutics へ TPLM プログラムを導入 - CSRD^{*14}要件に基づき、人権リスクの質問票を更新 - 新しい商品分類コードと契約依頼時に回答する質問を TPLM プロセスに実装 - 新しい ABAC^{*15} および データセキュリティの デューデリジェンスツールを導入 - 日々の業務サポートをする TPLM ヘルプデスクサポートモデルを再構築 - TPRM^{*16} (Third Party Risk Management) ベンチマーク分析を完了し、リスクテイクアプローチ、教育・研修フレームワーク、そして包括的なサードパーティリスク監視を確立するための、ロードマップとアクションプランを策定	- 質問票の内容、継続的モニタリング、外部データフィード、AI に関連する強化施策の実装を開始 - EHS、ABAC、および データプライバシーに関する リスクアセスメント質問票の調整を完了し、質問票へ導入済 - ソルベンシー、労働者の権利、EHS リスクドメインを対象とした新たなモニタリングソリューションの導入も進展中。 - 全社横断型かつ包括的な Third Party Risk 管理フレームワークの開発および展開を FY25 第4四半期から開始する予定
サプライヤーエンゲージメント活動へのビジネスパートナー行動規範の組み込み状況	-	- ビジネスパートナー行動規範を アステラスコーポレートサイトに掲載 - ビジネスパートナー行動規範を「アステラスの持続可能な調達宣言」の一つの柱に含めた - 注文書や契約の規約へのビジネスパートナー行動規範の組み込みを実施	- 注文書の契約条件に ビジネスパートナー行動規範へのアクセス用リンクがない国を特定し修正 - ビジネスパートナー行動規範が広く公開されていることを確認し、取引先登録依頼書にも含まれていることを確認 - ビジネスパートナー行動規範を ビジネスニーズに応じてロシア語に翻訳 - TPLM プロセスの一環として労働権に関する TPQ (Third Party Questionnaire) 内へビジネスパートナー行動規範へのリンクを追加	- ビジネスパートナー行動規範の見直しを実施中

小規模・多様なサプライヤーに対する年間支出の米国以外の地域への拡大状況	-	-米国において小規模事業者に約1億3,000万ドルの支出を目標とする「2024 US Small Business Plan」がVeterans Affairs(VA, アメリカ合衆国退役軍人省)より承認を受けた -中小企業データベースの利用を開始し、既存のサプライヤーとの照合を行うとともに、グローバルにビジネスを展開できる潜在的な中小企業の特定に活用	- 米国のVAに対し、年間約1億5,500万ドルを中小企業への支出を目標とする2025年度計画を提出。Minority Supplier Development Council (NMSDC)、National Veteran-Owned Business Association (NaVOBA) や Dun & Bradstreetとのパートナーシップを活用し、実行可能で適格な中小企業の代替案の特定を実施予定 - 既存のグローバルサプライヤーの支出に対して中小企業データベースを照合し、今後のグローバルな小規模および多様な拠点の可視化を実現するために、マスターデータチームと連携	-2025年度のSmall Business (SB)実績はVAにより承認され、目標を1億ドル上回る成果を達成 - 2026年度のVA提出用新計画の策定中。継続してNational Minority Supplier Development Council (NMSDC)、National Veteran-Owned Business Association (NaVOBA)、および Dun & Bradstreet とのパートナーシップを活用し、実行可能かつ適格なSmall Businessの代替案の特定を実施予定 - グローバルでのカバレッジ拡大を目的として、サプライヤー向けポータルシステムの導入についても検討中
アステラス内における「 持続可能な調達宣言 」の浸透状況	-	- 「アステラスの持続可能な調達宣言」をコーポレートサイトへ掲載 - グローバルな調達とベンダーマネジメントに関する社内研修の一環として、「アステラスの持続可能な調達宣言」についての研修を実施	- 支出額トップ350の取引先（戦略的/優先的取引先を含む）とのサステナブルビジネスパートナーサミットを開催し、アステラスのマネジメントメンバーが弊社コミットメントと、サステナブルな調達宣言に基づいて設定された目標を達成するために外部パートナーに期待されることを説明 - 社内イベントのサステナビリティウィークの一環として、組織全体でポスターセッションを実施し、「サステナブル調達宣言」の主要な項目と長期的な目標を社内のステークホルダーに伝達	- 社内イベントのサステナビリティウィークの一環として、組織全体でポスターセッションを実施し、「サステナブル調達宣言」の主要な項目と長期的な目標を社内のステークホルダーに伝達
サプライヤーに取引を発注する際、意思決定プロセスへのサステナビリティ基準の組み込み状況	-	- 提案依頼書へのESG関連の質問及びガイダンスの組み込みを準備 - サプライヤー選定時に活用できるようサステナビリティ基準の調達手順書への組み込みを実施	- 取引先契約時の ESG に関する文言の組み込みを検討中 - 従業員に対する継続的なトレーニングを実施。ビジネスを委託する際にサステナビリティ基準を組み込む重要性について継続的に周知・啓発	- 従業員に対する継続的なトレーニングを実施 - ビジネスを委託する際にサステナビリティ基準を組み込む重要性について継続的に周知・啓発
戦略的サプライヤーおよび優先サプライヤーに対するSRM ^{*17} のガバナンス体系へのサステナビリティの組み込み状況	-	- 新しいDaaSモジュール（GHG削減を包括的に進めるツール）を既存のSRM（サプライヤー・リレーションシップ・マネジメント）プラットフォームへ取り込む準備を推進中 - 第1期では戦略的サプライヤーおよび優先サプライヤーを対象に働きかけを行う予定	- サステナブルビジネスパートナーサミットの後、アステラスの目標との整合性を確保し、取引先の持続可能性の成熟度を把握し、GHGの一次データの提供を求めるためのアンケートを実施。 - さらに、年間140万トン以上の排出量を代表する350社以上の主要サプライヤーを評価し、どのサプライヤーが環境目標を設定しているかを確認を完了した - 結果、取引先の32%がCDPで公表しており、28%がSBT^{*18}認証を通じて目標を設定またはコミットしていることを確認	- 昨年度実施した主要な外部ビジネスパートナー上位350社を対象とするアンケート結果を基に、各社のサステナビリティ成熟度、およびアステラスのサステナビリティ目標に対する理解度、整合性を可視化 - 評価結果に基づき、208社の外部ビジネスパートナーを選定し、Scope 3のCO₂削減達成に向けた詳細なGHG一次データ取得に向けたエンゲージメントを開始 - FY25第2四半期末時点では、一次データ取得率は20%に達し、目標を5%上回って達成

^{*13} [TPLM](#) : Third Party Lifecycle Management

^{*14} CSRD : Corporate Sustainability Reporting Directive

^{*15} ABAC : Anti-Bribery Anti-Corruption（贈収賄・腐敗行為の防止）。詳細は以下の Web サイトをご覧ください。[倫理・コンプライアンス重点エリア](#)

^{*16}TPRM : Third Party Risk Management

*17SRM サプライヤー・リレーションシップ・モデル

*18 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

温室効果ガス排出量削減目標を改定し SBT（Science Based Targets）イニシアチブの承認を取得

製品の品質と安全性のさらなる向上

アステラスは、「品質重視の文化」を醸成し、患者さんのための製品の品質保証と安全性を確保します。

	単位	2023年度	2024年度	2025年度上期
製品の品質保証				
様々な社内コミュニケーションチャネルを通じて品質保証の啓発資料を共有する文化の醸成されている	-	CEOを含むトップおよび上級管理職による、品質の重要性に関するメッセージを発信	CEOを含むトップ、上級管理職および関連する主要部門による、品質の重要性に関するメッセージを発信	CEOを含むトップ、上級管理職および関連する主要部門による、品質の重要性に関するメッセージを発信
商用生産施設における品質重視の文化についての評価	-	商用生産施設における品質重視の企業文化についてのスコアカード評価を完了し(高岡、富山、高萩、焼津、ダブリン、ケリー、瀧陽)、24年度に重点的に取り組むべき目標課題を特定	品質重視の企業文化の共通アンケート設計を完了し、2025年度に取り組む課題を特定	現在の質問票の構成について、業界の品質文化フレームワークを活用し、ギャップ評価を実施。質問票は1つの観点で試験的な運用を行い、全社展開は現在検討中。
コミュニケーションプラットフォームでリーン・シックスシグマ(Lean Six Sigma) ^{*19} の資料とツールが共有されている	-	-リーン・シックスシグマ実践コミュニティが48か国より970名が参加するまでに成長 - 約100名のアステラス社員が Lean Six Sigma 認定を取得 - 品質と効率の継続的な改善の実例を共有するライブ・セッションを9回実施	- フィードバックに基づきリーンシックスシグマ ホワイトベルトコースを強化し、アジャイルな業務の進め方に関する資料を追加 - 従業員を対象としたリーンシックスシグマとアジャイルの考え方およびツールキットの類似点について話し合うライブセッションを2回実施した - 約120名の社員がリーン・シックス・シグマ認定を取得	- 約125名の社員がリーン・シックス・シグマ認定を取得（ホワイトベルト96名、イエローベルト24名、グリーンベルト5名） - リーン・シックス・シグマの活動はローカル単位で進行中

*19 リーン・シックスシグマ：品質保証文化を醸成するために、社内において最大限に業務を効率化し、ホワイトスペース（新しいアイデアを模索するために必要なリソース）を創出し、コストを削減するためのアプローチ

パリ協定と整合性のある温室効果ガス排出削減の達成

アステラスは、パリ協定と整合性のある温室効果ガス排出目標を定め、SBT 認証を取得しています。これらに沿って 2025 年度までに適正な量の温室効果ガス削減目標の達成を目指します。

〔2030 年度までの温室効果ガス排出量削減目標〕^{*20}

スコープ 1+2

63%削減（基準年：2015 年度）

スコープ 3

37.5%削減（基準年：2015 年度）

	単位	2023年度	2024年度上半期	2025年度上期
温室効果ガス排出削減率 (スコープ1+2)	%	39.8	46.0	通年データとして開示予定
温室効果ガス排出削減率 (スコープ3)	%	18.7	7	通年データとして開示予定
エネルギー使用量	MWH	2,005(TJ)	494,739	通年データとして開示予定
再生可能エネルギー由来の 電力の割合	%	40	39	通年データとして開示予定
水資源生産性 (WRP)	(十億円／千m ³)	0.25	0.28	通年データとして開示予定
売上収益当たりの 廃棄物発生量	(トン／十億円)	8.1	6.0	通年データとして開示予定
生物多様性指数	-	4.9	6.7	通年データとして開示予定
営業車に占める 低排出ガス車の割合	%	59	60	通年データとして開示予定
TPLMプログラムを通じて 評価されるCMO ^{*21} の数	件	25	20	通年データとして開示予定

^{*20} 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[ESG データ 環境 | アステラス製薬](#)

^{*21}CMO: Contracted Manufacturing Organizations